

留学報告書 ～私の初めての留学～

北京語言大学
国際文化学部生（中期）



今回、私は中国の北京語言大学へ半年間の交換留学生として中国語を学びに行きました。この留学は私の人生で初めての留学でした。当時、新型コロナウイルスが世界に流行し始めて大学の留学プロジェクトが中止になってしまいました。そして、今回がコロナウイルス明け初の留学生として派遣されました。正直、その当時は約4年間誰も中国へ留学に行っていなかったのが中国は現在どのように現状になっているのかなどの不安が大きかったです。また、出発前の1週間前に日本の福島県の原子力発電の汚染水問題が発生し、中国との政府関係が悪くなってしまいました。そのため、在中国日本大使館や大学からメールにて様々な注意事項（大きな声で日本語で話すことを止めるなど）が送られてきました。とても不安でした。ですが、なんとかなる、やってやるという私のマインドで中国へ向かいました。いざ、中国で生活して思ったことは日本人だから差別を受けることはありませんでした。政治の話なので私は何も言えませんが、自分自身の目でこの現状を見ているわたしからはメディアの伝え方や発信の仕方中国と日本間で切れ目ができてしまっているのではないかと感じました。自分で真実が見えることも自分の知識向上や国への偏見をなくすきっかけになると思いました。逆に、中国人の方は本当に優しい方が多かったです。



一枚目の写真は私のクラスみんなで撮った写真です。色んな国から集まっていたたくさんの友達ことができました。クラス自体雰囲気もとても良く、毎日授業が楽しかったです。先生も3人いてとても優しく、勉強に対して情熱的な方たちでした。私の中国語能力は初級レベルだったので、最初の方は授業中中国語と英語を混じる授業でした。学期の終わりには中国語のみで授業を行っていました。私自身、英語能力も中国能力も低かったので、どちらの言葉も勉強しなければいけませんでした。クラスメイトは全員英語ができている人ばかりなので意思疎通が最初はできなかったです。また、同じクラスからの友人が多かったので最初は翻訳機を使って会話をしていました。そんな私でもクラスメイトは受け入れてくれました。みんな日本の文化が大好きで、日本についてたくさんお話ししました。正直、日本人だから仲良くしてくれていたのもあったと思います。ですが、

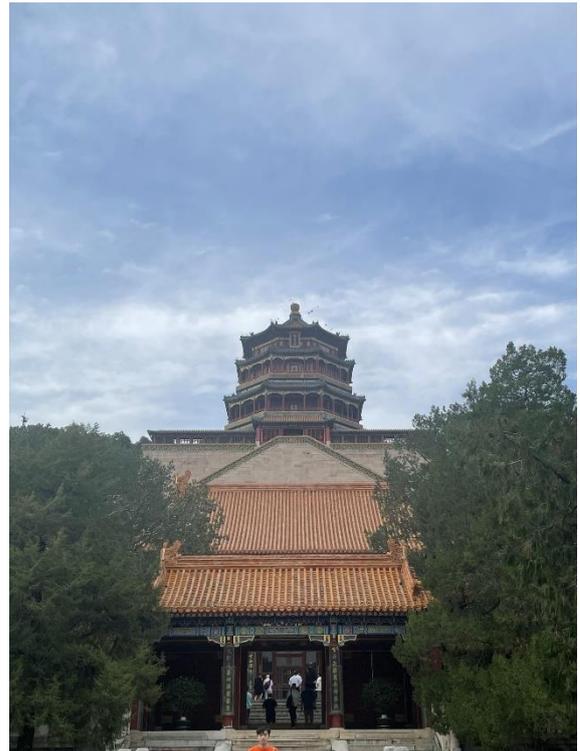
そのように理由でも一緒に時間をすごしてくれた友人やクラスメイトには感謝しかありません。



そして、今回の留学は半年間と期間が短かったので中国の銀行カードが使用できるようになってからすぐに北京の様々な観光地に行きました。私が通っていた北京語言大学の近くには有名な観光地がたくさんありました。バスに乗って15分ほどで行けるとところに頤和園があります。また、北京の料理もとても美味しかったです。特に北京ダックと包子が格別でした。炒飯も羊肉も本当に美味しかったです。

北京は少し京都に似ていると感じました。私が思うに、上海は東京、北京は京都のような場所だと感じました。北京は昔からの街並みや建物、お宝がありました。私は名古屋学院大学で日本の文化のゼミを専攻しているため、古い街並みの多い北京での観光は本当に楽しかったです。京都が好きの方や古い建物を見ることが好きな方は北京留学をお勧めします。

私の留学生活はとても恵まれていました。友人、先生、勉強をする環境がとても素敵だ



ったからです。私が住んでいた寮は今年にリニューアルしたばかりで住みやすく綺麗でした。2人部屋だったのでたまたまフロントで出会った日本人の女性と一緒に暮らしていました。彼女は大阪から北京語言大学の大学院生として来ていて、私が初日に寮のフロントにて手続きで泣きそうになっていた時助けてくれた方です。彼女と私自身の性格や考え方が似ているのもあって安心して生活できる環境ができていました。喧嘩や言い合いもなく、安心して帰るところがあったことが自分の中で運が良かったと思います。日本人の数は比較的多く、名古屋から来ている留学生は名古屋学院大学だけでした。他の日本人は東京や大阪からの有名な大学から来ていました。私は最初せっかく留学に来たのだから日本人と会話をするのは控えるようにしていました。ですが、日本人の友達を作っておくことで様々な場面でお互いに助け合うことができました。外国人の友人だけでなく日本人の友達もたくさんできたので良かったです。

日常的には私はずっとフランス人の女の子と過ごしていました。彼女が初めて私に声をかけてくれた友人で、私の初めてできた外国人の大親友です。彼女と出会えたから私の留学生活が本当に楽しかったです。彼女は最初私が全く英語を話せなくてもずっとそばにいてくれ英語を教えてくれました。また、私がだらしのないことや運動をしていないことを知っていたのでたくさん外に連れ出してくれました。観光地や公園、カフェに行き、私が中国語で挫折しているときもそばにいてくれました。私は人一倍頑張らなければ実力をつけることが難しいため追い込んでいたこともあり言葉の壁で辛いことが多かったのですが、私がつらいときにすぐ近くにいてくれ、寄り添ってくれる友人ができたことは本当に自分の人生の中で幸せなことだと感じます。

そして、中国の先生はとても情熱的です。特に2人の先生が私のことを気にかけてくれました。わからなかったら優しくすぐに教えてくれ、私が中国語でつまづいた時たくさん励ましてくれました。また、帰国する前に先生の事務所で将来についてお話しし、たわいもない日常のことについてたくさんおしゃべりをしました。このように中国の先生は本当に生徒思いです。自分が中国語を学ぶ意思をきちんと伝えてくれれば助けてくれます。素敵なお先生たちと出会えたことも私が中国語を頑張れた理由でもあります。最後は先生に手紙を書いて、帰国してきました。留学ではたくさんの人と交流する場面があります。積極的に会話をしたりすることが大切だと感じました。

私は比較的にお愛想が良かった人間だったのでたくさんの友人や関係性を持つことができました。私はじぶんがいくお愛想がいいことなど日本にいるとき感じていませんでした。留学に行って自分自身のことを改めて知り、気づかせたことが多かったのです。そのようなことから留学に行ったことで勉強だけでなく様々なものを得ることができ、自身の成長へつながりました。もし、留学に行くか迷っている方がいたら迷わずお勧めします。最初はとても不安だし、大変なことも多く、留学中に語学の壁を感じて泣いてしまうかもしれません。けど大丈夫です。とても楽しいです。自分自身の成長や新しい世界を見ることが出来ます。正直、中期を選ぶなら長期を選んだ方がいいです。とても時間が足りませんでした。留学に行った後、私が唯一後悔したことです。そのため、もし長期か中期で迷っている方がいたら長期をお勧めします。

今回の留学で過ごした時間は私の大切な宝物です。この留学で得たものはあまりにも多く、その得たものを人生に役立てて前に進んでいこうと思います。本当に留学に行けて良かったです。中国で出会えた人やすべてに心から感謝でいっぱいです。

